

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		交通安全対策事業		コード	02100100-0101	
中事業名		交通安全対策事業		計画区分	①	
担当部等		都市整備部		担当課等	道路建設課	
総合計画		コード	名 称		コード	名 称
	基本目標	02	安全・安心を高める	会計	1	一般会計
	基本施策	10	交通安全・防犯・消費者行政	款	08	土木費
	主要施策	01	地域における交通安全対策の推進	項	02	道路橋梁費
				目	02	交通安全施設費
				大	01	交通安全対策事業
				中	01	交通安全対策事業
根拠法令・条例等		道路法、河川法				
基本計画等		通学路交通安全プログラム整備計画				

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	各種交通安全施設の適正な整備及び維持管理を行い、道路利用者の安全性、快適性を確保する。
対象	道路、道路付属物等
意図（目的）	道路利用者の安全性、快適性を確保する。
手段	道路面のカラー塗装、ガードレール等の設置・修繕

2 実施結果「D0（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			14, 593	13, 535	13, 000	12, 450	13, 000	12, 183	13, 066
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	2, 450	1, 538	451
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		14, 593	13, 535	13, 000	12, 450	10, 550	10, 645	12, 615
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.60 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		3, 887.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				13, 535		12, 450		16, 070	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	各区からの要望や通学路交通安全プログラム等により、安全対策の必要性の高い箇所の抽出を行い、適切な交通安全対策を行う。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	歩道や自転車道に対する市民の要望があることから、歩道や自転車道の整備について、路肩のカラー塗装だけではなく対策を検討する。市民からの要望箇所及び危険個所の洗い出しについても検討する。
令和 4年度に 取り組んだこと	各区から提出される要望などに基づき、路面カラー塗装や区画線等の交通安全施設に関する工事を行った。また、通学路における合同点検の結果、危険と判断された箇所について、対策を行った。通学路交通安全プログラムでは、日進北中学校区内に路面カラー塗装等の交通安全施設工事を行った。
成果	道路利用者の安全性、快適性の確保と通学路の安全対策を行うことができた。
課題	対策を実施している箇所について、対策効果を再検証し、より効果的な対策を実施する必要がある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	各区からの要望や通学路交通安全プログラムに基づき、優先度や緊急度の高い箇所から対策を行うことができた。交通安全対策事業は、市民の安全・安心な暮らしを確保する上で重要かつ必要な事業であり、今後も継続して対策を行う必要がある。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		各区からの要望や通学路交通安全プログラム等に沿って、安全対策の必要性の高い箇所の抽出を行い、適切な交通安全対策を行う。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		歩道や自転車道に対する市民の要望があることから、歩道や自転車道の整備について、路肩のカラー塗装だけではなく対策を検討する。市民からの要望箇所及び危険個所の洗い出しについても検討する。			

【アウトプット指標】

指標名	工事実施率					単位	%
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	60.00	18.90	60.00	30.40	60.00	48.70	60.00

【アウトカム指標】

指標名	人身事故発生件数（日進市）					単位	件
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	250.00	278.00	250.00	260.00	250.00	275.00	250.00
式	人身事故発生件数（日進市）						
指標の狙い	地域の安全・安心につながり、事業効果が分かりやすい指標とした。						

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		道路整備事業		コード	03110100-0105	
中事業名		市道赤池・浅田2号線整備事業		計画区分	①	
担当部等		都市整備部		担当課等	道路建設課	
総合計画		コード	名 称		コード	名 称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る	会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路	款	08	土木費
	主要施策	01	幹線道路整備	項	02	道路橋梁費
				目	03	道路整備事業費
				大	01	道路整備事業
				中	05	市道赤池・浅田2号線整備事業
根拠法令・条例等		道路法				
基本計画等		—				

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	交差点改良による右折帯の設置並びに歩道の確保を行う。
対象	市道赤池・浅田2号線
意図（目的）	主要地方道と連続する市道の整備を行うことで、慢性化している交通渋滞の緩和と通行する市民の安全を確保する。
手段	用地買収、道路工事

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			0	0	0	0	29,039	26,993	36,340
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	10,500	12,550	18,170
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	0	0	18,539	14,443	18,170
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.80 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		5,182.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				0		0		32,175	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	
令和 4年度に 取り組んだこと	市道赤池・浅田2号線に右折帯設置と歩道整備を行うため、地権者との用地交渉を進めた。
成果	用地取得2筆と物件補償4件を行った。また、工事に向けた詳細設計を行った。
課題	愛知県と共同で交差点改良を進めているため、進捗状況や関係機関との協議など、事業の進め方について適宜、愛知県と連絡・調整を行っていく必要がある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	
評価の理由	交差点改良を実施し右折帯と歩道が整備されることにより、渋滞が緩和され歩行者の安全が確保される。安全・安心な市民生活を確保するため、引き続き本事業を進める必要がある。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		引き続き用地交渉を進め、令和5年度中の用地買収完了を目指す。愛知県と連絡・調整を図りながら、関係機関協議などを進めていく。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		工事について、河川のボックスカルバート施工も控えており、関係機関との協議を図りながら、安全に工事を進めていく。			

【アウトプット指標】

指標名	用地買収件数					単位	筆
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	4.00	4.00	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00

【アウトカム指標】

指標名	道路整備進捗率					単位	%
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	30.00	34.80	34.80	34.80	42.50	42.50	60.00
式	用地取得や工事状況など全体の進捗状況を指標とした。						
指標の狙い	事業の進捗度合がわかりやすい指標とした。令和5年度で用地取得は完了する予定なので、次年度からアウトプット指標は工事実施率などに変更する予定。						

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		街路整備事業		コード	03110100-0102	
中事業名		(都) 野方三ツ池公園線整備事業		計画区分	①	
担当部等		都市整備部		担当課等	道路建設課	
総合計画		コード	名 称		コード	名 称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る	会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路	款	08	土木費
	主要施策	01	幹線道路整備	項	04	都市計画費
				目	02	街路整備事業費
				大	01	街路整備事業
				中	02	(都) 野方三ツ池公園線整備事業
根拠法令・条例等		道路法、土地収用法				
基本計画等						

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	香久山と野方町・浅田町を結び、本市の新たな南北軸として整備する。
対象	(都) 野方三ツ池公園線
意図（目的）	主要幹線道路を補完し、市内の分散立地する市街地や集落地相互の交通流動を円滑に処理する。
手段	用地買収、道路工事

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			0	0	0	0	199,929	177,553	89,439
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	63,542	81,458	19,338
		県支出金	0	0	0	0	0	0	2,788
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		0	0	0	0	136,387	96,095	67,313
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		1.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		6,478.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				0		0		184,031	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	
令和 4年度に 取り組んだこと	引き続き地権者との用地交渉を進めた。また、どのような道路ができるのか、市民がイメージしやすいようにPR看板を現地に設置した。
成果	用地交渉を進めた結果、第1工区の用地取得率は令和4年度末で約51%に達した。
課題	家屋など物件の撤去・移転が必要となる地権者がおり、粘り強く用地交渉を積み重ねる必要がある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	
評価の理由	本市の新たな南北軸として整備が必要な本路線について、早期の開通を目指して今後も用地取得を進めていく必要がある。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		引き続き用地交渉・用地取得を進めるとともに、令和5年度は工事に向けて橋梁の詳細設計等を実施し、対策委員会や地元に対して説明会も開催する予定である。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		今後は用地交渉・用地取得を進めながら、橋梁工事等も行っていく予定である。			

【アウトプット指標】

指標名	用地買収件数					単位	筆
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	2.00	2.00	3.00	5.00	17.00	16.00	3.00

【アウトカム指標】

指標名	道路整備進捗率					単位	%
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	33.00	24.40	33.00	27.24	40.00	40.56	43.00
式	用地取得や工事状況など全体の進捗状況を指標とした。						
指標の狙い	事業の進捗度合いが分かりやすい指標とした。						

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		道路整備事業		コード		03110200-0102	
中事業名		道路改良事業		計画区分		①	
担当部等		都市整備部		担当課等		道路建設課	
総合計画		コード	名 称		コード	名 称	
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る	会計	1	一般会計	
	基本施策	11	道路	款	08	土木費	
	主要施策	02	生活道路の整備	項	02	道路橋梁費	
				目	03	道路整備事業費	
				大	01	道路整備事業	
				中	02	道路改良事業	
	根拠法令・条例等		都市計画法、道路法				
基本計画等		－					

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	道路利用者の安全性、快適性を確保するために、道路の適切な維持管理及び改良を行う。
対象	道路
意図（目的）	道路利用者の安全性、快適性を確保する。
手段	舗装修繕及び改良等

2 実施結果「D0（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			109, 001	103, 444	101, 250	93, 786	83, 750	82, 105	119, 142
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	759	0	0	0	0	2, 536
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		109, 001	102, 685	101, 250	93, 786	83, 750	82, 105	116, 606
人件費	正規職員	業務量		0. 00 人		0. 00 人		0. 60 人	0. 00 人
		人件費		0. 00		0. 00		3, 887. 00	0. 00
	会計年度任用職員	業務量		0. 00 人		0. 00 人		0. 00 人	0. 00 人
		人件費		0. 00		0. 00		0. 00	0. 00
総事業費（千円）				103, 444		93, 786		85, 992	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	現在住民からの強い要望のある、香久山中央通線の交差点渋滞について対策を検討していく。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	香久山中央通線については対策の完了までに複数年が必要と見込まれるため、計画を立てて実施していく。また、他の要望についても各区等と調整を図りながら、単年度で対応できない件に対しては、計画を立てて複数年で実施し、工事実施率を高めることを目指す。
令和 4年度に 取り組んだこと	香久山北・南交差点改良事業の予備設計等を行った。また、岩崎台1号線舗装整備工事や日生東山園29号線道路整備工事等、道路の改良や舗装修繕を必要とする路線の施工を実施した。
成果	各区から道路の破損や老朽化等による舗装等の整備要望に対し、整備工事等を実施し道路の安全性・快適性を確保した。
課題	各区等からの要望について複数年での対応が必要など、複雑或いは広範囲な要望が増えており、計画的な対応が必要となっている。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	各行政区からの要望について、調整を図りながら必要な工事を実施することができた。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		引き続き、各行政区から提出される要望などに対応するため、調査設計、道路改良を実施する。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		香久山北・南交差点改良事業は対策の完了までに複数年が必要と見込まれるため、計画を立てて実施していく。また、他の要望についても各区等と調整を図りながら、単年度で対応できない件に対しては、計画を立てて複数年で実施し、工事実施率を高めることを目指す。			

【アウトプット指標】

指標名	道路改良に関する区長要望工事実施件数					単位	件
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	20.00	7.00	20.00	13.00	20.00	20.00	25.00

【アウトカム指標】

指標名	道路改良工事実施率（区長要望実施率）					単位	%
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	40.00	25.90	40.00	44.80	50.00	66.70	70.00
式	道路改良工事実施数／道路改良に関する区長要望数×100						
指標の狙い	優先度や緊急度を図りながら工事を進めていく。						

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		道路整備事業		コード	03110300-0103	
中事業名		道路長寿命化事業		計画区分	①	
担当部等		都市整備部		担当課等	道路建設課	
総合計画		コード	名 称		コード	名 称
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る	会計	1	一般会計
	基本施策	11	道路	款	08	土木費
	主要施策	03	道路・橋梁の適正な維持管理・長寿命化	項	02	道路橋梁費
				目	03	道路整備事業費
				大	01	道路整備事業
				中	03	道路長寿命化事業
根拠法令・条例等		道路法、河川法				
基本計画等		橋梁長寿命化修繕計画、横断歩道橋修繕計画、折戸高松線始め12路線舗装修繕計画等				

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	従来の事後的な修繕から予防的な修繕へ転換し、道路や橋梁等を計画的に修繕するために、定期点検結果に基づいた修繕計画を策定したうえで、計画的に修繕工事を行うものである。
対象	道路、橋梁等
意図（目的）	道路利用者等の安全性を確保する。
手段	定期点検による既存道路施設の健全度を把握したうえで、適切な管理を実施する。

2 実施結果「DO（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			22,000	20,758	39,544	18,893	58,500	52,509	154,561
財源内訳	特定財源	国庫支出金	5,678	16,173	4,004	3,704	13,230	16,188	52,895
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	24,000
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		16,322	4,585	35,540	15,189	45,270	36,321	77,666
	人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.65 人
人件費				0.00		0.00		4,211.00	0.00
会計年度任用職員		業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				20,758		18,893		56,720	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	令和 3 年度までの点検結果を基に橋梁、横断歩道橋、大型 B O X 及び、舗装の修繕計画の見直しを行う。
今後 (1～3 年以内) 実施可能な 改善内容	道路施設の長寿命化においてライフサイクルコスト削減を図るため、点検の結果を基に、予防保全の補修工事を計画的に行っていく。また、必要な予算を安定的に確保するため、基金の運用、補助金の確保などの方法を検討する。
令和 4年度に 取り組んだこと	跨線橋 1 橋の点検を行った。また、点検結果に基づく歩道橋の補修設計を行った。修繕計画に基づき、五色園中央線等の舗装整備工事を実施した。
成果	計画的な点検業務と修繕工事を実施することができた。また、橋梁、横断歩道橋、大型カルバート及び舗装の修繕計画の見直しを行った。
課題	ライフサイクルコスト削減のため、事後保全から予防保全へシフトする必要がある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	修繕計画に基づき、点検と工事を行うことができた。定期的な点検と点検結果に基づく修繕工事は、市民の安全・安心は生活に欠かせないため継続的に実施する必要がある。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		令和4年度までの点検結果を基に橋梁、横断歩道橋、大型BOXの修繕工事を実施する。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		道路施設の長寿命化においてライフサイクルコスト削減を図るため、点検の結果をもとに、予防保全の補修工事を計画的に行っていく。また、必要な予算を安定的に確保するため、基金の運用、補助金の確保などの方法を検討する。			

【アウトプット指標】

指標名	橋梁工事実施数					単位	件
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	5.00	0.00	5.00	0.00	5.00	0.00	1.00

【アウトカム指標】

指標名	橋梁定期点検判定健全割合（I 区分）					単位	%
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	30.00	19.50	30.00	21.80	30.00	21.80	30.00
式	橋梁定期点検判定健全区分（I 区分）／計画対象橋梁×100						
指標の狙い	継続して対策を進め、健全な橋梁を増やしていく。対策の効果が分かりやすい指標とした。						

令和04年度日進市事務事業評価シート

大事業名		河川排水路整備事業		コード		03190100-0101	
中事業名		河川排水路整備事業		計画区分		①	
担当部等		都市整備部		担当課等		道路建設課	
総合計画		コード	名 称		コード	名 称	
	基本目標	03	暮らしやすいまちを創る	会計	1	一般会計	
	基本施策	19	河川・排水路	款	08	土木費	
	主要施策	01	河川・排水路等の整備及び維持管理	項	03	河川費	
				目	02	河川整備事業費	
				大	01	河川排水路整備事業	
				中	01	河川排水路整備事業	
根拠法令・条例等		道路法、河川法					
基本計画等		－					

1 事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	円滑に雨水排水処理ができるよう、排水施設の整備を行うものである。
対象	河川、側溝、雨水管等
意図（目的）	側溝及び排水施設等破損箇所の修繕等を行う。
手段	排水施設整備

2 実施結果「D0（実施）」

事業費（千円）			R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額	R4決算額	R5予算額
			68,300	26,958	8,000	30,542	67,000	29,447	20,199
財源内訳	特定財源	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源		68,300	26,958	8,000	30,542	67,000	29,447	20,199
人件費	正規職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.40 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		2,591.00	0.00
	会計年度任用職員	業務量		0.00 人		0.00 人		0.00 人	0.00 人
		人件費		0.00		0.00		0.00	0.00
総事業費（千円）				26,958		30,542		32,038	0

令和04年度日進市事務事業評価シート

○令和 4年度に記載した具体的な改善内容

令和 4年度に 実施する具体的な 改善内容	豊田川について、前年度までに崩壊の危険性の高い箇所への護岸改修工事を行っており、本年度は、豊田川のその他の場所について点検を実施し修繕の必要な箇所を調査する。
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容	点検の結果を基に、修繕計画を整備し豊田川の長寿命化を図る。
令和 4年度に 取り組んだこと	前年度に引き続き、豊田川の護岸改修工事を行った。また、黒木川護岸についても変状が生じているため、詳細設計及び護岸改修工事を行った。
成果	豊田川の護岸を復旧したことで周辺への被害を防ぐとともに、道路利用者の安全も確保することができた。
課題	その他の河川についても、建設後かなりの年数が経過しているため、今後も優先度や緊急度の高い箇所から整備を行う必要がある。

3 事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B	現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	豊田川の護岸復旧を行ったことで河川の安全性を保つことができた。また、各区より提出された要望を基に、優先度・緊急度の高い順に工事を行い一定の成果を上げることができた。			

4 今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 5年度に 実施する具体的な 改善内容		豊田川・黒木川については、崩壊の危険性の高い箇所の護岸改修工事を完了する。引き続き、豊田川のその他の場所や市内の河川について点検を実施し修繕の必要な箇所を調査する。			
今後の 方向性	成果	○拡充	●維持	○縮小	○休廃止
	コスト投入	○拡大	●維持	○縮小	○皆減
今後 (1～3年以内) 実施可能な 改善内容		今後も効率的な河川整備に取り組んでいく。			

【アウトプット指標】

指標名	河川排水路に関する区長要望工事実施件数					単位	件
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	10.00	3.00	10.00	8.00	10.00	3.00	10.00

【アウトカム指標】

指標名	河川排水路工事実施率（区長要望実施率）					単位	%
指標データ	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度
	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標
	50.00	37.50	50.00	66.70	70.00	75.00	80.00
式	河川排水路工事実施数／河川排水路に関する区長要望数×100						
指標の狙い	優先度や緊急度を図りながら工事を進めていく。						